

(平成20年9月分)

部 門	市況の概要
野 菜	9月期の野菜の入荷状況は、豊作傾向だったものの、一部の品目においては8月下旬の集中豪雨や高温・低温等の影響を受けて入荷が減少したため、野菜全体の入荷量としては前年並みとなった。 価格は、入荷増となった品目の多くは単価安となったが、土物類は単価高での推移となり、全体としては前年並みとなった。 品目別には、長大根、レタス、きゅうり、まつたけが入荷減の単価高、ほうれんそう、トマト、ピーマンは入荷増の単価安となり、西洋にんじん、はくさい、玉葱は入荷前年並みの単価高となった。また、ばれいしょは入荷増の単価高であった。 根菜類は、入荷前年並みで、価格は15%高となった。 葉菜類は、入荷が3%減少し、価格は前年並みとなった。 果菜類は、入荷が8%増加し、価格は8%安となった。 土物類は、入荷が5%増加し、価格も12%高となった。
果 実	9月期の果実の入荷状況は、一部品目で曇天や低温等の影響を受けながらも、多くの品目は作柄良く豊作傾向であり、果実全体の入荷量としては、前年同期を9%上回った。 価格は、入荷増に加え、原油高の影響から嗜好品である果実の需要が依然低く、前年同期を20%下回った。 品目別には、みかん、豊水なし、二十世紀なし、刀根・平核柿、巨峰、アールスメロン、栗が入荷増の単価安となり、津軽りんごが入荷前年並みの単価安であった。 柑橘類は、入荷が15%増加し、価格は14%安となった。 りんご類は、入荷が6%減少し、価格は21%安となった。 なし類は、入荷が15%増加し、価格は26%安となった。 かき類は、入荷が81%増加し、価格は20%安となった。 ぶどう類は、入荷が5%増加し、価格は10%安となった。 メロン類は、入荷が30%増加し、価格は24%安となった。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】	
長大根	北海道を中心に，兵庫県，青森県からの入荷。各産地ともに生育良好であったものの，主力産地である北海道で長雨によって播種が遅れたため，入荷量は前年同期を３％下回った。 価格は，猛暑によって低迷していた消費が回復し，前年同期を１６％上回った。
西洋人参	北海道を中心とする入荷。主力産地の北海道では生育期の高温によって商品化率が低下したものの，中央市場の集散機能が発揮され，入荷量としては前年並みとなった。 価格は，安定した需要によって，前年同期を４％上回った。
【葉菜類】	
はくさい	長野県を中心に，北海道，群馬県からの入荷。各産地ともに中旬から下旬にかけて入荷が減少したものの，上旬が潤沢な入荷状況であったことから，全体の入荷量は前年並みとなった。 価格は，入荷の減少した下旬に単価高となり，全体としては前年同期を５％上回った。
キャベツ	群馬県を中心に，長野県，北海道，茨城県からの入荷。各産地ともに生育良好で大玉傾向であったものの，消費の低迷から流通現場での在庫が多く，入荷量は前年同期を３％下回った。 価格は，需要の低迷に加え，単価の安い大玉傾向の入荷であったことから，前年同期を１８％下回った。
ほうれんそう	岐阜県を中心に，北海道，滋賀県，茨城県，鳥取県からの入荷。曇天による生育遅れから上旬は入荷減となったが，天候の回復とともに生育は回復し，潤沢な入荷状況となったことから，入荷量は前年同期を１２％上回った。 価格は，品薄であった上旬は単価高で推移したが，中旬以降は入荷が集中して単価安となり，全体としては前年同期を９％下回った。
レタス	長野県を中心に，北海道，茨城県からの入荷。主力産地である長野県では８月下旬に頻発した集中豪雨の影響で，一部地域の入荷が減少し，入荷量は全体で前年同期を１６％下回った。 価格は，入荷減に加え，加工業務筋の需要が高く，前年同期を３０％上回った。

【果菜類】 きゅうり	福島県，北海道，京都府を中心に，滋賀県，愛媛県からの入荷。上旬は，8月下旬の低温によって各産地とも生育が遅れ，中旬以降は順調な入荷状況となったものの，入荷量は前年同期を10%下回った。 価格は，入荷減によって前年同月を4%上回った。
なす	京都府を中心に，徳島県，岐阜県，奈良県，高知県からの入荷。主力産地の京都府では高温による樹勢の低下が見られ，入荷量は全体として前年同期を9%下回った。 価格は，消費の低迷によって，入荷減ながら前年並みとなった。
トマト	北海道を中心に，岐阜県，茨城県からの入荷。各主力産地では台風の被害もなく作柄良好であり，入荷量は前年同期を14%上回った。 価格は，入荷増により前年同期を6%下回った。
ピーマン	大分県，茨城県，福島県，兵庫県を中心とする入荷。茨城県以外の産地では，曇天による生育不良や品質低下から入荷が減少したが，茨城県産の入荷が多く，全体の入荷量としては前年同期を3%上回った。 価格は，需要の低迷に加えて品質低下もあり，前年同期を24%下回った。
【土物類】 ばれいしょ (メーク含む)	北海道を中心に，青森県からの入荷。各産地とも前年のような台風被害はなく，入荷量は前年同期を5%上回った。 価格は，主力産地の北海道では選別を厳しくしたことから品質が向上しており，入荷増にもかかわらず前年同期を21%上回った。
たまねぎ	北海道を中心に，兵庫県，京都府からの入荷。各産地ともに豊作傾向であったが，北海道では収穫期の降雨等によって作業が遅れ，全体の入荷量としては前年並みとなった。 価格は，高品質で需要も高く，前年同期を11%上回った。
【その他野菜】 まつたけ	中国を中心に，韓国，カナダからの入荷。主力である中国産の輸入量が減少し，入荷量は前年同期を20%下回った。 価格は，輸入品に対する敬遠感は少なく，入荷減も重なって，前年同期を21%上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
みかん	宮崎県を中心に，福岡県，和歌山県からの入荷。8月下旬の降雨で果実の肥大が良く，入荷量は前年同期を13%上回った。 価格は，入荷増によって前年同期13%下回った。
津軽 （サン含む）	青森県，長野県を中心に，岩手県，山形県からの入荷。入荷量は前年並みとなった。 価格は，青森県産の一部に軟質果が見られ，前年同期を21%下回った。
豊水なし	長野県を中心に，富山県，鳥取県，福島県，滋賀県からの入荷。各産地ともに作柄良好で豊作傾向であったことから，入荷量は前年同期を19%上回った。 価格は，中下旬に入荷が集中したため，全体では前年同期を26%下回った。
二十世紀なし	鳥取県を中心に，長野県，京都府からの入荷。順調な入荷状況となり，入荷量は前年同期を3%上回った。 価格は，単価の安い小玉果比率が高かったことから，前年同期を23%下回った。
刀根・平核柿	和歌山県を中心に，奈良県，愛媛県からの入荷。8月下旬の気温低下によって着色が順調に進み，入荷が早まったことから，前年の着色遅れによる大幅な入荷減と比べ，入荷量は前年同期を113%上回った。 価格は，入荷増によって，前年同期を24%下回った。
巨峰	長野県を中心に，山梨県，福岡県からの入荷。収穫期の降雨によって下位等級の比率が高くなったもののそれまでの生育は順調で，入荷量は前年同期を5%上回った。 価格は，下位等級の比率が高かったことから，前年同期を11%下回った。
アールス	茨城県，静岡県を中心に，石川県，長野県，熊本県からの入荷。原油高の影響から冬季を避けた栽培が増加したことから，入荷量は前年同期を35%上回った。 価格は，入荷増により前年同期を21%下回った。
くり	愛媛県，京都府を中心に，島根県，石川県からの入荷。作柄は平年並みであったが，前年が不作であったことから，入荷量は前年同期を32%上回った。 価格は，前年が不作による単価高であったことから，前年同期を18%下回った。

